

部局名	生涯学習部	所属名	八千代台東南公共センター	所属長名	相馬 文子	電 話	485-6611
-----	-------	-----	--------------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3468		事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業						短縮コード	経常	3468	臨時	3983
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	八千代台東南公共センター費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法，八千代市八千代台東南公共センターの設置及び管理に関する条例，八千代市八千代台東南公共センターの設置及び管理に関する条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
○事業概要 安全性，利便性を確保するための施設の維持管理事業。 ○事業を開始したきっかけ 市民のコミュニティ活動の推進，教養の向上及び社会教育の振興を図るため，平成元年より開始。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
施設が老朽化している。今後は，計画的な修理・修繕が必要。						大項目（節）	05	文化						
						中 項 目	01	市民文化						
						小項目（施策）	01	文化活動の推進						
						細 項 目	02	文化活動の機会の充実						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○八千代台東南公共センター施設									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ○施設，設備の整備（修繕，清掃等）									
	※平成22年度に計画していること： ○施設，設備の整備（修繕，清掃等）									
意図 （何を狙っているのか）	○施設の安全性・利便性を確保し，利用者が安心して使用できる施設が維持され利用できること。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	八千代台東南公共センターの数	所	1	1	1	1			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	年間の開所日	日	345	345	348	345			
	指標 2	修繕の回数	回	2	1	4	3			
	指標 3									
成果指標	指標 1	実利用日数/利用可能日数	%	85. 2	85	84. 3	82. 2			
	指標 2	実利用可能日数/予定利用可能日数	%	85. 2	85	84. 3	82. 2			
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード		3468	事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業			所属名	八千代台東南公共センター
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0		
		県	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	9, 292	8, 267	7, 588	7, 522	
		その他	千円	3, 763	4, 047	3, 365	3, 902	
	主な事業費の内訳			消耗品費122千円，光熱水費5, 937千円，修繕料1320千円，通信運搬費66千円，手数料12千円，保険料24千円，委託料5, 565千円，使用料12千円	消耗品費122千円，光熱水費5, 897千円，修繕費97千円，通信運搬費72千円，手数料21千円，保険料24千円，委託料6, 069千円，使用料12千円	消耗品費122千円，光熱水費5, 056千円，修繕費504千円，通信運搬費54千円，手数料21千円，保険料24千円，委託料5, 163千円，使用料12千円	消耗品費122千円，光熱水費5, 897千円，修繕費309千円，通信運搬費72千円，保険料24千円，委託料4, 988千円，使用料12千円	
	人件費 (B)			千円	4, 350. 2	4, 255. 6	4, 255. 6	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円		17, 405. 2	16, 569. 6	15, 208. 6	
							15, 679. 6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策である，「生涯学習機会の拡充」を図るために事業を進めているので結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		「生涯学習の充実」及び「市民のまちづくりにつながる学習の促進」については，現状では所期目的を達成するため，老朽化した建物の維持管理が必要であり事業を継続していく。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		公民館との複合施設であり，社会教育の振興を図る目的から一体的な施設維持管理が必要であるため。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		東南公共センターホールを対象に，一般市民の皆さんに生涯学習の機会を持って頂くため事業を行っている。従って，「対象・意図」の設定は現状のままでよい。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		機械警備委託，清掃業務委託，管理業務委託については，必要最小限の委託事業であるので，現状では可能性がない。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3468	事務事業名称	八千代台東南公共センター維持管理事業				所属名	八千代台東南公共センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			○平成元年築のため、建物全体の老朽化が進み、利用者の安全性・利便性を確保し、利用者が安心して使用できるよう現状で事業を継続する。 ○高齢化に対応した施設の改修について検討していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成元年築のため、建物全体の老朽化が進んでいる。今後さらに突発的な改修・修繕が発生することが予想されるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
○備品等の充実 ○施設の老朽化への対応	

所属長コメント	施設の維持管理については、築20年を経過し施設の他、備品・設備についても利用者の安全・安心を第一に、緊急性の高いものから補修を行っていく必要がある。また利用者の促進を図り、使用料の増収につなげたい。 利用者の高齢化に対応した施設の改修について検討していきたい。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		